



# ABEST21 e-News

No.60, September 2013

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,  
a 21<sup>st</sup> century organization

URL: <http://www.abest21.org> TEL. 03-3498-6220 E-Mail: [ABEST21@abest21.org](mailto:ABEST21@abest21.org)

## ABEST21 Office Report

- ・ 2013年09月13日：第24回マネジメント人材育成協議会を開催
- ・ 2013年09月19日：第5回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催
- ・ 2013年09月24日：第6回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催
- ・ 2013年09月26日：第7回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催
- ・ 2013年10月01日：タイ・プーケットで開催の EFMD Asia Advisory Board Meeting に出席
- ・ 2013年10月01日：東京で開催の ASEAN+3 高等教育質保証フォーラムに出席
- ・ 2013年10月04日：第8回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催
- ・ 2013年10月04日：ABEST21 Asia Quality Assurance System Model を文部科学省高等教育局 高等教育企画課に報告

## 1. マネジメント教育の質保証--7

### 「教員組織」(Faculty)

「教育研究上の目的」を実現していく教育システムにおいて、第3の構成素は「教員組織」です。教員組織は学生を教育研究上の目的で目指す人材にどう育成していくかに直接的に係る要素であるために、教員組織の質保証は重要な評価項目となります。従って、教員組織を教員の有機的組織体として質的・量的な視点からの評価及び教員組織の構成単位としての個別教員の教育研究力を評価する視点とが必要となります。さらに、教育研究環境の変化に対応しうる教員組織の組織力を評価するために、教員組織を動的に評価することが求められてきます。

周知のごとく、組織は構成員の加算的關係ではなく、倍数的な關係にあります。組織の力は $3+3=6$ ではなく、 $3^2=9$ となります。教員組織は有機的な組織体であるために、水素と酸素の元素化合物 $H_2O$ である水のようなものでもあります。水は太陽光により蒸発して積乱雲となり、それがさらに発達して雷となり、計り知れないエネルギーを生み出します。教員組織も同じで教員の頭数だけが揃えば教員組織が力を発揮していくというわけではありません。教育研究環境の変化に対応しうるダイナミックな組織力が不可欠です。例えば、大学執行部はよく教員数は大学設置認可基準で規定されている教員数を満たしているから問題はないといいます。しかし、その実態は学長または学部長のリーダーシップが見られない、主要科目の専任教員が補充されていない、年齢構成が高齢化していて活力がみられない、教員の教育研究業績が少なく教育力が期待できない、教員組織の構成が同質的で多様なニーズに対応できないなど様々な問題が内在しています。組織は戦略に従うものであって、未来に対する戦略のないところに組織はないと考えます。

教員組織を評価する主な具体的な項目について、下記の項目があります。

- 1) 教員組織の構成に必要な教員数の確保について

- ・「教育研究上の目的」を達成する教育課程に必要なと認められる数の専任教員を任用しているか。
  - ・必要と認められる授業科目に必要なかつ十分な専任教員を任用しているか。
  - ・必要と認められる実務家教員を任用しているか。
  - ・専任教員と非専任教員とのバランスはとれているか。
  - ・教員組織の多様性に配慮しているか。
- 2) 教員の教育上の指導能力のある教員の確保につて
- ・「教育研究上の目的」の達成のために必要な教育上の指導能力を有する教員を任用しているか。
  - ・教員の教育上の指導能力を評価するプロセスを設定しているか。
  - ・教員の教育研究業績の資料を開示しているか。
  - ・教員の任用及び昇任に関する規則及び基準を整備しているか。
  - ・教員の任用及び昇任に関する審査プロセスを設定しているか。
- 3) 教員の教育研究環境の整備について
- ・教員の教育研究活動を推進していくために必要な教育研究環境を整備しているか。
  - ・教員の教育研究活動を推進していくために教員の授業担当時間数を適切な範囲内に止めているか。
  - ・教員の教育研究活動の推進に必要な研究費獲得の支援体制を整備しているか。
  - ・教員の教育研究活動の推進に必要な事務職員及び技術職員等の支援体制を整備しているか。
  - ・教員の教育研究活動の推進に必要な教育課程の活性化を図る適切な措置を講じているか。
- 4) 教員の責務について
- ・教員は、「教育研究上の目的」の達成のために、ステークホルダーとの意思疎通を図り、学術研究の推進に努めているか。
  - ・教員は、自己点検評価及び学生の授業評価の結果に基づいて、授業の内容、使用教材及び授業方法等の改善を図っているか。
  - ・教員は、学習目標の達成のために、先端的な高度専門的知識・技能の教授に努めているか。
  - ・教員は、学習目標の達成のために、オフィスアワーの設定及び電子媒体等を通じて学生との対話を積極的に図り、学生の学習指導に努めているか。

教員組織を評価する場合に特に注意することは、個々の教員の教育研究業績を評価することも大切ですが、この教育研究環境の変化の加速度的な進展を考えると、教員組織が機動力のある有機的な組織体となっているかどうか、学生の未来の夢を実現させる組織力をもった教員組織となっているかどうかを評価することも看過してはならない問題と考えます。(ABEST21 理事長伊藤文雄)

## 2. General Information

### 1) International Symposium 2013 の開催について

ABEST21 は、2014 年 3 月 8 日（土）、筑波大学において国際シンポジウム“グローバル化時代におけるマネジメント教育の革新”を開催することになりました。本国際シンポジウムは世界の英知の参加を得て、アジア太平洋諸国の持続的発展に不可欠なグローバル化時代におけるマネジメント人材育成とビジネススクール教育の在り方について討議し、世界に向けてその成果を発信していくものです。

### 3. Network Information

#### 1) 第1回 ABEST21 グローバル人材育成セミナーの開催について

ABEST21 は、産学連携でグローバル化時代のビジネススクールにおけるマネジメント教育の在り方を検討する一環として、この度、世界のグローバル企業である伊藤忠商事株式会社のご協力をいただきまして、下記の日程で第1回 ABEST21 グローバル人材育成セミナーを開催することにいたしました。

記

日時：2013年11月8日（金）、13:00-14:45

場所：Grand Prince Hotel New Takanawa

講師：遠藤和人氏

伊藤忠商事株式会社人事・総務部、グローバル人材開発室  
グローバルマネジメント開発プログラムシニアアドバイザー

参加希望者は、ABEST21事務局までお申出ください。[ABEST21@abest21.org](mailto:ABEST21@abest21.org)

#### 2) 第24回マネジメント人材育成協議会の開催について

第24回マネジメント人材育成協議会が、2014年9月13日（金）、南青山会館で開催されました。先ず、会長より資料に基づき、役員人事とマネジメント人材育成協議会会則一部改正（案）について説明があり、役員人事については下記の人事が承認され、会則一部改正（案）については次回協議会で審議することになりました。



次に、第三次提言作成に向けて取り組んでいる「マネジメント教育における産学連携のあり方」の第3回事例研究として山口大学大学院技術経営研究科(MOT)の取組みについて、研究科長の上西研教授より報告がなされました。

山口大学 MOT は、2005年に“イノベーションを持続的に創出するための体系的な知識と実践力をもつ人材の育成”を教育理念として設立された技術経営系の専門職大学院で、主に社会人を対象として宇部市、広島市、福岡市の3つのキャンパスで土曜日を中心に授業が開講され、産学連携の実践として現場に密着したソリューションを提供していることの報告がなされました。

引き続き、文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐佐藤昭博氏より資料に基づき「社会人学び直し大学院」について報告がなされました。

次回は、2013年11月29日（金）、14:00-16:00 南青山会館で、「マネジメント教育における産学連携のあり方」についての第4回事例研究が予定されています。

第3期役員（任期 2013年4月1日～2015年3月31日）

会長 伊藤文雄（ABEST21）

副会長 白木 俊彦（南山大学）

副会長 古野 庸一（株式会社リクルートソリューションズ）

理事 徳賀 芳弘（京都大学）

- 理事 R. Taggart Murphy (筑波大学)
- 理事 上村 成彦 (ソニー株式会社)
- 理事 吉村 一孝 (トヨタ自動車株式会社)
- 監事 日比谷 武 (富士ゼロックス株式会社)
- 監事 根来 龍之 (早稲田大学)

#### 4. Quality Assurance Information

=====

##### 1) Peer Review Committee の開催について

2013年度のPeer Review Committeeが、年2013年11月7-8日、Grand Prince Hotel New Takanawaで開催されます。前号でご案内しました通り、21件の審査を2日間にわたり行うことになりました。その内訳は、初審評価の“Accreditation Plan”が6件(国外ビジネススクール)、“Self-Evaluation Report”が4件(国外ビジネススクール)、維持評価の“Progress Report”が4件(国内専門職大学院)、そして認証校の実行計画履行状況評価の“Improvement Report”が7件(国内専門職大学院4件、国外ビジネススクール3件)です。2013年度より質保証の国際展開を一層推進していくために、国内専門職大学院には英文の報告書を提出していただきました。また、Peer Review Teamの審査員の構成にも多くの海外審査員が加わりました。ABEST21の審査報告書は全て英文化され、審査報告書の英訳化していく作業がなくなりましたので、受審校の質保証についての情報を積極的に海外発信していきます。

##### 2) ABEST21 Asia Quality Assurance System Model の報告について

ABEST21が、わが国文部科学省の平成24年度先導的・大学改革推進委託事業として2012年度に調査研究してきました報告書がまとまり文部科学省に提出いたしました。ABEST21はこのモデルの実践に向けて、2014年11月8日(金)開催のPeer Review Committeeで協議することにいたしました。ABEST21のこれまでの知見と2013年7月5日開催のチェンマイ会議での意見を踏まえて、モデルを開発したもので、2014年度実施に向けてのロードマップを作成していきます。

#### 5. Research Information

=====

##### 1) Project-6 と Project-7 について

ABEST21は、2012年4月よりJoint Research Project-6としてCSR-Fuji Xerox Case Writing及びJoint Research Project-7としてABEST21 Asia Quality Assurance System Modelの開発に取り組んできました。この度、2013年7月5日開催のチェンマイ会議での中間報告を経て、2014年3月8日の年次総会に報告し、社会に公表していくことといたしました。

#### 6. Membership Information

=====

##### 1) 神戸大学大学院経営学研究科

神戸大学大学院経営学研究科現代経営学専攻(専門職大学院)は、兵庫県神戸市に所在し、1989年に我が国の国立大学では最初の昼夜開講制で社会人大学院生を受け入れた「社会人MBAプログラム」のビジネススクールです。専任教員数は57名で、学生総数は約150名です。神戸ビジネススクールの教育特徴は、欧米のMBAとは異なる特色を持った「神戸方式」とも呼ばれる「プロジ

ェクト方式」と「研究に基礎を置く教育(Research-based Education)」の独自の教育システムにあります。学生の通学の利便性を考慮し平日夜間の大阪教室開講制と神戸キャンパスでの土曜集中開講制が併用されています。研究科長は水谷文俊教授です。

研究科のウェブサイトはこちらです。→ <http://mba.kobe-u.ac.jp/>

## 2) SBI 大学院大学経営管理研究科

SBI 大学院大学経営管理研究科アントレプレナー専攻（専門職大学院）は、2008年にSBIホールディング株式会社によって設置された通信制のビジネススクールです。専任教員数は21名で、学生総数は160名です。SBI ビジネススクールの特徴は、中国古典等の日本人に影響を与えた思想や哲学を学ぶ「徳育」に関する授業を多く配置している点と、インターネットを利用したeラーニングシステムにより、インターネット上に新しい教育効果を目指し構築されたバーチャルな学校環境下での教育スタイルです。研究科長は、重田孝夫教授です。

研究科のウェブサイトはこちらです。→ <http://www.sbi-u.ac.jp/>

## 7. ABEST21-QMC Information (URL: <http://abest21-qmc.com>)

=====

ABEST21-QMCは、これからの大学の在り方をテーマにセミナーを開催していくことにいたしました。大学進学年齢者層の18歳人口の逡減及び教育研究環境の加速度的な変化等に対応していくためには、目先の小手先の措置ではなく長期的な展望に基づいた体系的な革新をしていくのであれば“ゴーイングコンサーン”としての大学の経営は難しいと考えられます。

セミナーでは、まず、第1回テーマとして“今求められる大学改革--教育力を高めるにはどうすればいいか”についての講演、大学教育改革推進の事例報告、そして参加者との総合討論を予定しています。大学関係者の英知の参加をお待ちいたします。

### 記

日 時：2013年12月5日（木）14:00-17:00

場 所：南青山会館

テーマ：“今求められる大学改革--教育力を高めるにはどうすればいいか”

講 師：合田 隆史氏（前文部科学省生涯学習政策局長、ABEST21-QMCアドバイザー）

講 師：濱名 篤氏（関西国際大学学長）予定

事例報告：平成25年度「地（知）の拠点整備事業」の採択大学

住吉 廣行氏（松本大学学長）予定

事例報告：次世代の人材育成を担う新学部の新設による大学改革推進大学

交渉中

総合討論

参加費：無料

参加者：先着50名

申込先：ABEST21 高等教育質マネジメントコンサルティング株式会社セミナー係

Tel.:03-3498-6220, E-mail: ABEST21-QMC@abest21-qmc.com